

2025 年 7 月 25 日  
株式会社春帆楼

## 【下関春帆楼本店】守り継がれる歴史と伝統の技 「日清講和条約 130 周年記念会席」を販売 ～期間限定販売 9 月 30 日（火）まで～

下関春帆楼本店（所在地：山口県下関区 総支配人：手柴 鋼太郎、以下「春帆楼」）は、このたび、日清講和条約 130 周年を記念した会席料理「日清講和条約 130 周年記念会席」を 9 月 30 日（火）まで期間限定で販売します。



日清講和条約調印式の図

下関の迎賓館として 130 年以上の歴史を誇る春帆楼本店は、明治維新をはじめとする数々の歴史的瞬間を見守ってまいりました。関門海峡を見下ろす高台に位置し、長年にわたり下関名物のふく\*料理をご堪能いただける割烹旅館として、多くのお客さまをお迎えしております。

また、春帆楼本店は 1895 年に日清講和条約（下関条約）が締結された由緒ある場所でもございます。この度、下関条約締結 130 周年を記念し、「とらふくの薄造り」「ふく唐揚げ」「ロブスター」など、お楽しみいただけるお得な会席料理を期間限定でご提供いたします。

この機会に、初代内閣総理大臣である伊藤博文公が命名した春帆楼で、日本の歴史に触れながら、ふく料理をご堪能ください。

※下関では昔から『ふぐ』のことを『ふく』と呼びます。この由来は、ふく（福）として縁起をかつぐ意味が込められていると言われています。

以 上

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社春帆楼 企画営業課 白川

TEL: 080-9511-1711 Email: [ayako.shirakawa.rd@orix.jp](mailto:ayako.shirakawa.rd@orix.jp)

## 1. 「日清講和条約 130 周年記念会席」概要

|       |                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催店舗  | 下関春帆楼本店<br>〒750-0003 山口県下関市阿弥陀寺町 4-2<br><a href="https://www.shunpanro.com/location/shimonoseki/">https://www.shunpanro.com/location/shimonoseki/</a> |
| 販売期間  | 2025 年 9 月 30 日（火）まで                                                                                                                                  |
| ご予約方法 | 電話：083-223-7181<br>*2 名さま～100 名さままで承ります。<br>*4 日前までのご予約制です。                                                                                           |

### ■「日清講和条約 130 周年記念会席」お一人さま 6,600 円（税込み）

先 付：うざく  
前 菜：季節の五種盛り  
吸 物：牡丹鱧清まし仕立て  
向 付：とらふく薄造り  
焼 物：ロブスター 柚子味噌焼き  
冷 皿：ふく冷しゃぶサラダ  
揚 物：ふく唐揚げ  
蒸 物：ふく冷やし茶碗蒸し  
御 飯：ふく寿司  
水菓子：季節のデザート



日清講和条約 130 周年記念会席 イメージ

※ 時季により若干内容が異なります。  
※ 別途サービス料を 10%いただきます。  
※ 掲載写真はイメージです。

## 2. 日清講和条約と春帆楼の関係について

明治維新後、急速な近代化を遂げた日本は、朝鮮半島の権益を巡って清国（中国）との対立を深め、1894 年 8 月に勃発した甲午農民戦争（東学党の乱）を契機に日清戦争が開戦。日本軍が平壤や黄海での勝利を収め、遼東半島を制圧したことで、清国は講和を打診しました。

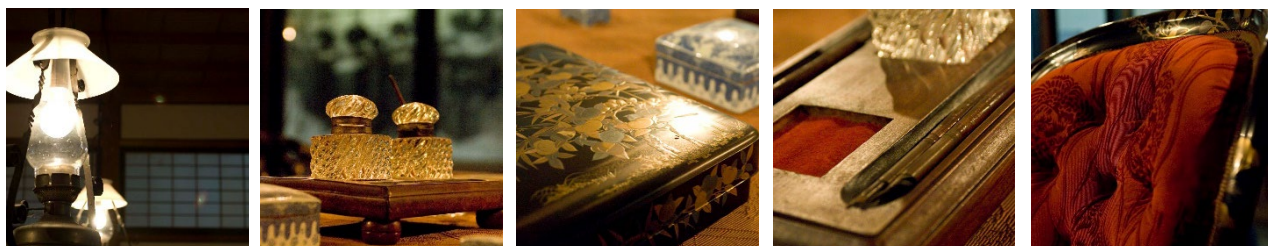
講和会議の開催地については、長崎や広島などが候補に挙がりましたが、会議の一週間前に伊藤博文が「下関の春帆楼で」と発表し、開催が決定します。

1895 年 3 月 19 日、百名を超える清国使節団を乗せた船が亀山八幡宮沖に到着。日本側からは伊藤博文と陸奥宗光が全権弁理大臣として、清国側からは李鴻章が講和全権大臣として、両国代表合わせて 11 名が会議に臨みました。講和会議は、当時の春帆楼二階大広間を会場に繰り返し開催され、同年 4 月 17 日に日清講和条約（下関条約）が締結されることとなります。

下関が講和会議の地に選ばれたのは、日本の軍事力を誇示するのに最適な場所だったからです。会議の終盤には、増派された日本の軍艦が遼東半島を目指して関門海峡を次々と通過する光景が清国使節団に脅威を与え、交渉が日本のペースで進んだと言われています。

会場となった春帆楼は、後に「鉄道唱歌」で「世界にその名いと高き 馬関条約結びたる 春帆楼の跡とひて 昔しのぶもおもしろや」と歌われるほど有名になりました。

後世に世界の外交史に残る講和会議の意義を伝えるため、1937年6月には春帆楼の隣接地に日清講和記念館が開館しました。館内では、講和会議が行われた部屋が当時の調度そのままに再現されており、浜離宮から下賜された椅子をはじめ、伊藤博文や李鴻章の遺墨など、講和会議に関する多くの資料が展示されています。



春帆楼は下関の迎賓館として多彩な用途に供され、長きにわたり歴史の移ろいを見守ってまいりました。これからも下関の文化財の保護と、正確な情報の永続的な保存に尽力し、未来へと受け継いで参ります。

### 3. 下関春帆楼本店 概要

春帆楼は 1888 年に初代内閣総理大臣である伊藤博文公により命名され、日本で初めてふぐ料理の公許第一号に認定されました。

その後、1958 年と 1963 年には昭和天皇皇后両陛下にご宿泊いただく栄誉を賜り、今日まで下関の迎賓館として多くのお客さまに愛され続けております。

源平合戦や明治維新の舞台となった関門海峡を見下ろす高台に佇む春帆楼本店では、その歴史を見守ってきた関門海峡の絶景とともに、名物のふぐ料理をご堪能いただけます。

現在は、東京、大阪でも本場下関の味をお楽しみいただけるよう、店舗展開をしておりますので、ぜひお立ち寄りください。



下関春帆楼本店 外観